

市民公開座談会

「人生最後の着地姿勢 (テレマーク)を支える」

2019年6月1日(土) 定員200名

入場
無料

17:00~18:30(16:40~受付)

事前申し込みはありません。

定員200名を超えた場合は入場できないことがありますのでご了承下さい。

講師 1

方波見医院 医師

父の医院を継承して奈井江町に戻り地域医療に従事して60年。2017年北海道新聞文化賞受賞。著書は、「がんとの対話」「ターミナルケアへの提言ーいま、何が問われているか」「生老病死を支える」「いのちのメッセージ」など多数ご執筆。



方波見康雄 先生

講師 2

茨城県立健康プラザ 管理者

リハビリテーションの第一人者。茨城県では超高齢社会を乗り切るため大田氏考案の「シルバーリハビリ体操」指導士を養成、体操の普及をはかる。現在は指導士約8千人、養成事業を全国に展開中。著書に「介護予防と介護期・終末期リハビリテーション」「お棺は意外に狭かった」など多数ご執筆。



大田 仁史 先生

コーディネーター

アナウンサー 朗読家

札幌出身。北海道テレビで多くの番組に出演。後に報道部ディレクターとしてニュースやドキュメンタリー制作も行う。「プログレス賞」「ギャラクシー賞」等を受賞。NPO法人「ことばのひろば 五億の鈴の音」の代表として、子どもたちの言葉を育てる活動に取り組む。武蔵女子短期大学外部講師。(有)オフィスパレット代表。



五十嵐いおり さん



札幌医科大学臨床教育研究棟講堂

お問い合わせ 手稲溪仁会病院 担当:青山

TEL 011-685-3182

会場

札幌市中央区南1条西17丁目
(地下鉄東西線「西18丁目」駅下車
5・6番出口徒歩5分)
※会場に駐車場はありません。
公共交通機関をご利用下さい。



ホームページ
QRコード